

大分県木材会館建設基本方針

平成 27 年 5 月

1 建設の目的

昭和 38 年に、大分県木材協同組合連合会（以下「県木連」という。）の本社事務所や研修施設等を備えた鉄筋コンクリート 3 階建ての木材会館（以下「旧木材会館」という。）を建設しました。建設から約 50 年が経過した平成 26 年度に、耐震診断を実施した結果、建物の構造に耐震性不足が指摘されました。

一方、本県の人工林資源は本格的な伐採時期を迎えている中、林業や木材産業の振興や適正な森林整備のために、より一層の木材の有効活用が求められています。

こうしたことを踏まえ、県木連で旧木材会館のあり方等を検討したところ、同場所での建て替えを行うこととし、併せて、新しい木材会館（以下「大分県木材会館」という。）の建設に当たっては、一般的に使用されている木材等に加え、新たな材料として期待されている CLT（直交集成板）をふんだんに使用し、魅力ある木造建築物を目指すこととしました。また、今回の大分県木材会館は、CLT 等新たな木質部材、工法の展示・普及機能を持った施設として、建築材料としての地域材の良さを広く情報発信するとともに、今後建設されるオフィスビルや公共建築物等中高層建築物において、CLT 等の地域材を活用した木造建築物等の建設促進のモデル的な建築物となることを目的とします。

2 建物の構造・規模等

(1) 構造 木質構造とします。

- (2) 階数等
- ① 3 階建て
 - ② 延べ床面積・約 1,200 m²
 - ③ CLT の使用を必須とします。

(3) 必要とする部屋及び機能、広さ等

区分	機能	広さ・機能等
本社事務所	本社事務室	150 m ² 程度 職員数 16 名 (専務 1 名、3 課×5 名)
	理事長室	20 m ² 程度
	応接室	30 m ² 程度
	書庫	70 m ² 程度
	〃 (備品用)	24 m ² 程度
	〃 (重要書類用)	12 m ² 程度
	外部倉庫 (備品用)	12 m ² 程度
	職員更衣室 (2 室)	2 室 (男 9 名 女 9 名) ローカースペース確保
	PC サーバー室	12 m ² 程度
	大会議室 (兼研修室)	収容人数 100 名 (テーブル付き) 机、椅子の収納スペース確保
	中会議室	収容人数 30 名 (テーブル、コの字方式)
	休憩 (仮眠) 室 (2 室)	9 m ² 程度×男女各 1 室 (シャワー・トイレ付き)
	食堂	24 m ² 程度
貸事務所等	貸事務所・店舗等に活用	給湯施設、トイレを確保
・大中会議室は、一般にも貸し出すこととします。		

3 建設の場所及び条件等

- (1) 建設地 大分県大分市王子港町 2883-2 番地外(旧木材会館の跡地で県木連所有地内)
- (2) 敷地面積 約 1,229 m²
- (3) 都市計画区域等
 - ① 近隣商業地域
 - ② 建ぺい率 80% 容積率 300%
 - ③ 準防火地域
 - ④ 駐輪場・駐車場附置義務区域、屋外広告物第 1 種許可区域

4 建設に要する経費

- (1) 予定設計費 3,000 万円以内 (消費税及び地方消費税を含む)
- (2) 予定建設費 3 億 6,000 万円程度 (")

5 設計者の選定

- (1) プロポーザル方式で募集し、設計者を選定します。
- (2) 募集対象者は、大分県 CLT 協議会会員 (会員が代表となった共同企業体を含める。) とします。
- (3) 設計者の選定のため、専門家等からなる選定委員会を設置します。

6 スケジュール (予定)

- (1) プロポーザル方式による募集開始 平成 27 年 9 月中旬
- (2) 設計者の選定 平成 27 年 12 月
- (3) 設計の委託契約の締結 平成 28 年 1 月

なお、建設工事の着手は、実施設計書完成の後、その他の条件が整い次第、速やかに着工する予定です。